

第三十九号 二〇一七年九月十四日発行



高山留学生学生だより

かけはし

発行	公益財団法人 高山国際教育財団
住所	〒160-0022 新宿区新宿 2-9-23 SVAX 新宿ビル B 館 6 階
電話	03-3225-8058
ファックス	03-3355-7654
e-mail	TIEF@ takayama-foundation.or.jp
ホームページ	http://takayama-foundation.or.jp

2017 年度奨学生授与式報告



去る 7 月 12 日（水）、公益財団法人高山国際教育財団の 2017 年度奨学生授与式が京王プラザホテルで平井理事長はじめ役員の皆様方、学校関係者のご参列のもと開催されました。（詳細は 2 ページに続く）

かけはし第 39 号目次

表紙 2017 年度奨学生授与式報告 集合写真	1
目 次	2
2017 年度 授与式・7 月例会報告	1-12
2017 年度 5 月例会報告	12-19
高山留学生会館 納涼会報告	20
編集後記	20

2017 年度 授与式・7 月例会報告

開催日 2017 年（平成 29）年 7 月 12 日（水）
出席者 平井理事長、劉理事、近森理事、福元理事、
福田理事、水島監事、加藤評議員、
宇野評議員、猪原選考委員、秋山選考委員、
2017 年度奨学生 55 名、2016 年度奨学生
33 名、特別奨学生 7 名、高山留学生会館
生 3 名、元奨学生 12 名、元会館生 1 名、
ゲスト 14 名、事務局 5 名、合計 140 名

〔平井理事長ご挨拶〕

皆様、今晚は。本日は、公益財団法人高山国際教育財団の 2017 年度奨学金授与式でございます。奨学生として厳しい関門を通り、新しく選抜された皆様大変おめでとうございます。本年は新しく奨学生になられた 58 名の皆さんと昨年から継続の皆さんと合わせて 106 名の皆さんに奨学金を支給することになりました。

優秀な奨学生を推薦していただいた学校関係の皆様大変有難うございました。日ごろからのご協力、ご理解と合わせて厚く御礼申し上げます。また、書類審査、面接と長時間にわたり選考頂いた選考委員の先生方、事務局の皆さま大変有難うございました。さて、当財団は、初代理事長高山成雄氏が、2001 年 5 月に設立した財団で、設立時 26 名であった奨



学生数が、昨年度まで 727 名になりました。その内博士号取得者累計で 35 名になっております。

高山理事長は、幼少の頃から日米を何度となく行き来をし、両方の国で教育を受けられ、米国では自由な発想と独立心を身に着け、日本では他人を思いやる優しい心を育み、戦後、日本に戻られブラジルから天然の水晶を輸入する貿易会社伯東株式会社を設立され、現在東証一部に上場し、年間売り上げ約 1.270 億円の企業になっております。伯東に関しては、後程伯東の方からご説明をお願いしております。

高山理事長は事業を成功に導くと同時に各種の社会活動に積極的に参加されました。それらの活動を通じて日本に留学している学生の内経済的理由で留学の継続を断念しなければ方々いることに心を痛めておりました。日本に来て、日本語を勉強し、色々な分野での勉強をしたいと願っているアジアを中心とした方々に援助をし、その方々の夢の実現、さらには国際人として活躍してほしいと願い、その思いを実現するため、高山理事長個人の財産の大半を投入し、当財団を設立されました。当財団のすべては高山理事長が寄付された伯東株式会社の株式の配当金を基本に賄われております。このことは、創業者利益は社会に還元したいという高山理事長の強い信念に基づいているものです。残念ながら、高山理事長は 2010 年 7 月 94 歳でお亡くなりになりました。

当財団は奨学金支給と宿舎事業を行っておりますが、設立当時より当財団の特色として奨学生が孤独に陥らないように隔月の例会を開催し奨学生間の親睦、財団役員、卒業生との交流、春秋に日本の文化、技術等を学んでいただく研修会、財団の活動